

平成27年度林業機械化推進シンポジウム

林業の成長産業化と求められる作業システム



後藤純一高知大学教授による基調講演



本郷 浩二
林野庁森林整備部長

プログラム

第1部 情報提供・基調講演

- 「林野庁における林業機械開発事業の概要」
..... 林野庁研究指導課技術開発推進室長 川浪亜紀子
- 「林業の成長産業化と求められる作業システム」
..... 高知大学 教授 後藤純一

第2部 事例報告

〈林業分野におけるロボット技術研究開発事業〉

- 「造林作業負担軽減のためのアシストスーツの開発研究」
..... 住友林業 株式会社
- 「自動走行機能による遠隔操作式フォワーダのオペレーターサポートシステムの開発」
..... 国立研究開発法人 森林総合研究所
〈次世代架線系高性能林業機械等開発事業〉
- 「中距離架線集材に対応した次世代架線系高性能林業機械の開発・改良」
..... 一般社団法人 林業機械化協会
- 「長距離集材に対応した無線操作油圧式集材機の開発」
..... 株式会社 前田製作所
- 「軽量化・省力化を実現するスナッチ滑車・サドルブロックの開発」
..... 大洋製器工業 株式会社

〈全木集材に取り組む事業者のシステムと工夫〉

- 「全木集材に取り組む事業者の作業システムと工夫」
..... 株式会社 門脇木材
- 「用材+森林バイオマス資源の省力搬出作業システムと加工・流通作業システムへの展開」
..... 山口県東部森林組合
- 「全木集材による作業システムと低質材の有効利用」
..... 美和木材協同組合
- 「高性能林業機械の導入による搬出間伐の効率化」
..... 真名畑林業 有限会社
- 「日本土地山林株式会社 社有林の取り組み」
..... 日本土地山林 株式会社

〈総括〉高知大学 教授 後藤純一

- 「架線作業システム高度技能者育成及び森林作業道作設オペレーターの育成研修の概要」
..... 一般社団法人 フォレスト・サーベイ

2月19日(金)国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)において、平成27年度林業機械化推進シンポジウムを開催しました。(主催林野庁、一般社団法人フォレスト・サーベイ) 都道府県・市町村の林業普及・振興担当者や林業事業者、研究機関など全国から約430人が参加する中、「林業の成長産業化と求められる作業システム」をテーマに、林業機械の研究・技術開発や人材育成についての最新情報や、林業生産現場における作業システムの効率化を目指した取組事例等の情報共有、成長産業化に向けた道筋の展望を目的としてプログラムが進めら

れました。 林野庁の本郷森林整備部長の「林業の成長産業化のため、若者や女性が林業に参加するためにも重要。」と呼びかける挨拶に始まり、後藤純一高知大学教授により本シンポジウムのテーマでもある「林業の成長産業化と求められる作業システム」についての基調講演が行われました。 また、国が開発中の林業用ロボットの最新情報について開発を担当している研究機関や企業からの提供や、林野庁委託事業の次世代架線系高性能林業機械開発事業における機械・器具開発の成果について開発主体の企業や団体

から報告が行われました。 さらに、林業の成長産業化に向けて低質材の有効活用を含め作業システムの効率化に取り組んでいる5事業者から、現場での林業機械使用や工程管理の工夫・課題等について発表が行われました。 最後に、後藤教授からそれぞれの発表に対する講評をいただき閉会しました。 なお、来場者に配付した「林業機械化推進事例集」には、全国から寄せられた22の事例が掲載されており、今後、林野庁ホームページで掲載する予定です。